

# 薬草園の花だより

第22号

2020年(令和2年)5月2日発行

## ■第22号に寄せて

新型コロナウイルス発現とその感染の拡大により、ついに緊急事態宣言となり、私たちの生活が大いに制限されることになりました。大学の方は基本的に学生の入構が出来ず、オンライン講義が行なわれ、部活動も中止、今まで経験したことのない事態となっております。

是非、早急にこの危機を乗り越えてほしいのですが、この春に学位を得、さらに薬剤師などの資格を得られた皆さんの中にはすでに最前線にての活躍に邁進されておられる方も多いと思います。どうぞ感染には十分に気をつけてお仕事をされます様、まずは身を守ることに努めてください。お互いに気をつけましょう。

このような人間社会の事態とは関係なく、植物たちは春の到来とともにその活発な活動を再開しています。そして、もう、春も終盤となりつつあります。今回の『薬草園の花だより』では、主に、行く春を惜しむように咲き誇る薬用植物園の植物たちの花を出来るだけたくさんお見せしたいと思います。来年の春は皆さんこれらの花を直接見たり、触ったり、香りを嗅いだり出来るといいですね。

薬用植物園の北側ではボタンが豪華な花を付けました。花王と呼ばれるだけありさすがに風格のある花です。この植物はもともと遣唐使が薬としてわが国に持ち込んだものですが、その根皮がボタンピ（牡丹皮）として応用される他、各地の牡丹園でその花が愛でられています。（日本薬科大学薬用植物園長／船山信次）



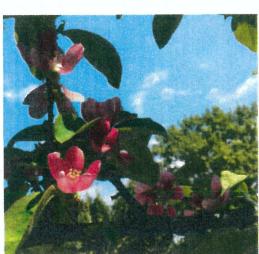
ボタン

## ■行く春を惜しんで

この状況でも、春は間違いないやってきて、様々な植物が花を着けました。薬用植物たちは生き物ですから日々生長したり、花を着けたりするとともに植物によってはちょっと世話を怠ると枯れてしまいます。学生さんたちの入構が基本的に出来ない日々ですが、植物たちは今年も忘れずに芽を出し、花を着けました。今回はそのような花たちの様子を順不同で、出来るだけたくさん紹介していくことにしましょう。そのために説明はかなり端折ってあります。ご容赦ください。

### 《原種チューリップ・カリン・オランダイチゴ・フデリンドウ》

春の到来を花壇で真っ先に告げる植物にはクロカスやヒヤシンス、スイセンなどがありますが、春爛漫となるとチューリップの花が目立つようになります。チューリップの中には有毒成分を含むものがあります。今を盛りと咲き続けていますが、原種チューリップといわれるものはもう開花の終盤となります。一般的のチューリップの豪華さはありませんが、なかなかに野趣的な味わいがあります。



カリン



原種チューリップ

オランダイチゴはバラ科の植物です。薬用植物園の温室前の鉢に咲いているこの開花状況を見ていただければこの植物がバラ科に属する植物であることを納得していただけたことだと思います。これから結実の様子などが観察される時期です。

薬用植物園内の小道のあちこちでフデリンドウの花が咲いていました。本学薬用植物園の春の到来を告げる花のひとつです。リンドウの仲間は薬用にもなりますが、薬用に使用されるリンドウの開花はこれからです。



オランダイチゴ



フデリンドウ

薬用植物園の入り口近くの左側にカリンの木があります。一昨年はカリンの大豊作でしたが、昨年はどういうわけかさっぱり結実しませんでした。今年はどうなることでしょうか。この春には青空のもとにたくさんの綺麗な花を着けていました。

### 《カモミール・アマリリス・ジオウ・カロライナジャスミン》

カモミールはハーブティーなどとして人気のある植物です。今、その花が満開中。香りが立っています。大変によく生育しており、その花もなかなかに魅力的なものです。今、その近くに同じキク科のベニバナが生育中。もう少しでその花も見ることができます。楽しみな時期です。



カモミール

アマリリスは、実は、薬用植物園長の大好きな花のひとつです。なんという豪華で妖艶ともいえるような花でしょう。この植物はヒガンバナ科に属し、いわゆるヒガンバナ科アルカロイド類を含む毒草でもあります。これらのアルカロイドの中には医薬品として応用されているものもあります。まさに「薬毒同源」ですね。同じヒガンバナ科に属するスイセンの葉をニラと間違って食する中毒が毎年のようにおこっていることは残念です。



アマリリス

温室の南側の展示園でジオウが花をつけています。生薬の地黄の基原植物で、一見地味ですが、なかなかに魅力的で綺麗です。この植物、きちんと植えつけたところよりも自分で好きなところから芽を出したものの方がより元気に育つ様です。

カロライナジャスミンという名前からジャスミンの仲間と思い、この葉をお茶のようにして服用して中毒した例があります。花に良い香りがありますものの、実はこの植物はジャスミン茶の原料とは全く異なるもの。葉にゲルセミン類の毒性の極めて強いアルカロイドを含み、その服用は大変に危険。絶対にNGです。



ジオウ



カロライナジャスミン

### 《チョウジソウ・ジギタリス・オクトリカブトの芽生え・フジ》

薬用植物園の入り口ではチョウジソウが出迎えてくれます。また、温室の東前の展示園ではジギタリスの花が見頃です。そして、東奥の展示園ではオクトリカブトがやわらかくておいしそうな芽を出しています。しかし、この植物は猛毒。山菜採りをしていて間違えて採取し、中毒する例が多く、命にかかり要注意です。ただし、その塊根は附子や烏頭として、弱毒化処理後に漢方で使用される要薬であることも確かです。薬用植物園の東端近い水生植物展示園の脇にある藤棚では見事なフジの花が出迎えてくれています。



チョウジソウ



ジギタリス



オクトリカブトの芽生え



フジ

## ■薬用植物園からのお知らせ

### 《様々な薬用植物が元気に皆さんの帰りを待っています》

今は学生たちの大学構内への入構は原則禁止されている状況ですから残念ながら薬用植物園の観察も出来ない状況ですが、薬用植物園の手入れは変わらずに続けられ、さらに植物の種類も増やしています。皆さんがまたキャンパスに戻ってこられるようになったときにはすぐに観察できるようにしてお待ちしています。

発行：日本薬科大学薬用植物園